

平成 28 年度 全日本学生柔道体重別選手権大会(男子 35 回 女子 32 回)

- 1、大会名 平成 28 年度 全日本学生柔道体重別選手権大会(男子 35 回 女子 32 回)
2、主催 (一社)全日本学生柔道連盟・朝日新聞社
3、主管 東京学生柔道連盟
4、後援 文部科学省、東京都、(公財)日本武道館、(公財)講道館、(公財)全日本柔道連盟、(公財)東京都柔道連盟
5、期間 平成 28 年 10 月 1 日(土)

開 場：午前 8 時 00 分 開 会 式：午前 9 時 00 分 試合開始：午前 9 時 30 分

男子 60 kg級、66 kg級、73 kg級、81 kg級 女子 63 kg級、70 kg級、78 kg級、78 kg超級

平成 28 年 10 月 2 日(日)

開 場：午前 8 時 00 分 試合開始：午前 9 時 00 分

男子 90 kg級、100 kg級、100 kg超級 女子 48 kg級、52 kg級、57 kg級

6、会 場 日本武道館 東京都千代田区北の丸公園 2-3

7、競 技 規 則

(1) 参加資格

- ①(一社)全日本学生柔道連盟の法人正会員たる柔道部の在籍者であり、かつ、(公財)全日本柔道連盟に登録した者。
- ②国公立大学又は短期大学などに在籍の学生。
- ③各地区学生柔道連盟から推薦された者。
- ④在学中、実業団その他の職域チームに属している者は、その大会(試合)に出場していない者。
- ⑤2年生においては1年次の修得単位数が20単位以上の者。但し、特例措置対象者は除く。

(2) コーチ資格

全柔連公認指導者資格制度の導入に伴い、コーチ席への立ち入る部長・監督・コーチいずれかの者は、全柔連公認指導者資格のA指導員もしくはB指導員の資格を有していなければならない。

さらに、コーチ席に立ち入る者は全員、全柔連公認指導者資格のC指導員以上の資格を有していなければならない。

ただし、今年度は本制度移行期間であるため、部長・監督・コーチいずれかの者はAもしくはB資格保有者でなければならないが、加えて複数のコーチを必要とする場合は、特例措置として無資格の者のコーチ席への立ち入りも許可する。

(3) 試合方法 本大会は、両日ともに6試合場にてトーナメント方式で実施する。

(4) 審判規定 本大会は、国際柔道連盟試合審判規定を準用する。

(試合運営上、審判員は4審制(ジュリーを含む)とする。)

(5) 柔道衣 (公財)全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣、下穿、帯)を着用すること。

(本規定は、2015年度決定事項に従う。詳細は全日本学生柔道連盟ホームページ参照のこと。)

なお、柔道衣の規格については、厳守しなければならない。)

※今年度より、青柔道衣を採用する。また女子の帯は白線なしの黒帯とする。(別紙参照)

(6) ゼッケン 出場選手は所定のゼッケンを柔道衣につけること。(詳細は別紙)

8、各地区出場枠

《男子》 ①男子出場選手数の配分は、原則として下記の総枠数内で自由とするが、各階級1名以上とする。

②前年度優勝者及び準優勝者は、主催者推薦とする。ただし、該当者が出場しない場合は各地区枠に充当できる。

③今年度世界選手権大会に日本代表として出場する学生は、主催者推薦とする。

また、日本代表以外の当連盟登録選手についても、6月末の世界ランキングが50位以内で、世界選手権大会に出場する者は、主催者推薦とする。

ただし、この条件で推薦を得た選手の大会出場表明期日は申込締切日までとする。

北海道	東北	北信越	関東	東京	東海	関西	中国四国	九州	合計
-----	----	-----	----	----	----	----	------	----	----

23	23	23	48	92+7	23	49	24	30	342+14
----	----	----	----	------	----	----	----	----	--------

《女子》 ①女子出場選手数の配分は、下記の総枠数内で自由とするが、各階級1名以上とする。

ただし、ある階級に出場者がいない場合は、総枠人数内で他の階級に出場枠を割り当てることができる。

②前年度優勝者及び準優勝者は主催者推薦とする。ただし、該当者が出場しない場合は各地区枠に充当できる。

③今年度世界選手権大会に日本代表として出場する学生は、主催者推薦とする。

また、日本代表以外の当連盟登録選手についても、6月末の世界ランキングが50位以内で、世界選手権に出場する者は、主催者推薦とする。

ただし、この条件で推薦を得た選手の大会出場表明期日は申込締切日までとする。

北海道	東北	北信越	関東	東京	東海	関西	中国四国	九州	合計
14	17	16	30	31+7	16	20	20	19	190+14

9、選手計量

計量は、それぞれの階級の試合前日に行う。

9月30日(金) 男子：講道館女子部道場 女子：講道館新館第4会議室

予備計量 午後3時30分～4時00分 公式計量 午後4時00分～4時30分

10月1日(土) 男子：日本武道館地下2階東側ロッカー 女子：日本武道館地下2階西側ロッカー

予備計量 午後3時30分～4時00分 公式計量 午後4時00分～4時30分

10、表彰

各階級優勝、準優勝、第3位(2名)を表彰する。

11、審判員

審判員の総数は66名とし、必ず女性審判員を含むこととする。各地区の柔道連盟は下記の人数の審判員を帯同することとする。

【(公財)東京都柔道連盟・(公財)全日本柔道連盟派遣審判員6名以内(審判長含む)、

東京21名、関西13名、関東14名、北信越3名、北海道・東北・東海・中国四国・九州各2名】

12、参加申込

(1)申込先 〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2-3 日本武道館内 東京学生柔道連盟

TEL 03-3213-7106 FAX 03-3287-3282

(2)申込期日 WEB 申込期日 平成28年9月5日(月)～7日(水)

書類郵送期日 平成28年9月7日(水) 午後5時必着

(3)申込方法 参加申込責任者は各大学監督とし、WEBにて申し込みを行う。(P.17を参照)

(4)参加費 参加選手1名につき4,000円とする。※各地区学生柔道連盟がその地区出状大学の参加費を取りまとめて、9月7日(水)正午までに下記口座へ振り込むこと。振り込みが確認できない場合は、本大会の参加は認めない。参加費は各地区連盟の指定先へ振り込むこと。

《振込先》三井住友銀行 小石川支店(813)普通 428679 (一社)全日本学生柔道連盟 会長 佐藤宣踐

(5)IDカード 作成方法は別紙参照。

出場人数に応じたコーチ席に入るためのIDカードの追加発行基準は、以下のとおりとする。

出場人数5～9人 …+1枚

10～14人…+2枚

15人～ …+3枚

(6)選手変更 各地区学生柔道連盟は、9月28日(水)午後5時までに変更選手に関する必要書類を提出

することにより、選手変更が認められる。それ以後の選手変更は認められない。

※なお、推薦選手については、抽選会後の選手変更は認められない。

※必要書類とは、変更用紙、変更前選手の辞退理由書(怪我・病気の場合は診断書も添付)、変更選手の在学証明書、健康診断書、IDカード用写真とする。

13、組み合わせ

大会組み合わせ抽選会は、(一社)全日本学生柔道連盟役員立ち会いのもと東京学生柔道連盟により行う。

日時：平成28年9月17日(土)午前10時～ 女子48kg級～78kg超級、男子60kg級～100kg超級

会場：講道館新館2階教室 シード基準：シード基準は別紙による。

- 14、審判員会議 日時：平成28年9月30日(金)午後4時～ 会場：講道館新館
- 15、審判員集合 日時：平成28年10月1日(土)午前8時30分
- 16、監督会議 日時：平成28年9月30日(金)午後5時30分～ 会場：講道館新館2階教室
- ※監督会議では、大会上の注意事項についての伝達や、IDカード、プログラム等の配布などを行うので、申込時に登録した部長・監督・コーチのいずれか1名が出席すること。出席できない場合には委任状(P.32)を提出すること。(学生には委任できない)
- なお、無断欠席した場合には、大会の出場が認められないことがあるので注意すること。
- 17、安全対策 本大会主催者は、大会出場選手に対する傷害保険に必ず加入するとともに救急指定病院の手配を行うとともに、試合場に医師を配置する必要がある。
- ※ただし、本大会では上記により医師による応急処置を施すが、それ以上の責任は負わない。
- なお、大会当日出場選手は、必ず保険証(コピー不可)を持参すること。
- 18、練習会場 講道館にて、9月30日(金)午後1時～午後4時、10月1日(土)午前10時～午後4時の間練習を行うことができる。その際、別紙所定の用紙にて、9月7日(水)午後5時までに主管事務局(東京学生柔道連盟)へ申し込むこと。
- ※事前に申し込みのない大学の選手の練習場利用はできない。
- 19、大会事務局 主催事務局：〒112-0003 東京都文京区春日 1-16-30 講道館 (一社)全日本学生柔道連盟
TEL 03-3818-1587 FAX03-3818-1960
主管事務局：〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 2-3 日本武道館内 東京学生柔道連盟
TEL 03-3213-7106 FAX 03-3287-3282
- ※質問・問い合わせ等は、すべて主管事務局(東京学生柔道連盟)に行うこと。
- 20、その他
1. 《皮膚真菌症について》
皮膚真菌症(トンズランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。
感染が疑わしい、もしくは感染が認められた選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。
選手に皮膚真菌症の感染が認められた場合は、原則として大会への出場を禁止する。
(ただし、2週間以内の治療証明書がある場合は、出場を認める。)
 2. 《計量について》
原則として、採用試験において正規の公式計量の時刻に間に合わない場合、9月28日(水)までに主管事務局へ必要書類を提出すること。なお、所定の書類を期日までに提出した者のみ、計量時間の延長(1時間)を認める。
※必要書類とは、採用試験を実施する機関からの通知文のコピーをいう。
 3. 《個人情報取り扱いについて》
 - (1) webでの申込に記載された個人情報、大会中に撮影された写真、または動画が、大会プログラム、大会ホームページ等に掲載される場合があります。また、その他の報道機関等により、新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合があります。
 - (2) 提出された個人情報については、上記の利用目的以外に使用することはありません。
 - (3) webでの申込により、上記(1)(2)の取り扱いに関する承諾を得たものとして対応をさせていただきます。
※個人情報取り扱いについて、不明な点等がある場合は、(一社)全日本学生柔道連盟事務局)にお問い合わせください。